

「住み続けたい」「戻りたい」

そんな山口県を
県民ファースト×現場主義
で実現！



2児の母
43歳
弁護士
県議7年



(公式HP)

若い女性の1/4が県外に出ていく！

山口県の人口減少率は中国地方で最も高く、その中でも若者、特に女性の県外流出は全国でワースト9位。この10年間で、子育て世代の女性1/4が減少。このままでは経済・医療・福祉、教育など、暮らし全体に深刻な影響が広がります。

実は私も、県外流出組でした

私も高校卒業後に上京し、そのまま就職しました。しかし、母の病を機にUターン。夫と出会い、子どもに恵まれ、弁護士・県議会議員として働き、仕事と子育ての両立は大変です。でも地域に助けを求められる地元だったからこそ、子育てを楽しめる今があると実感しています。

山口県の救世主は女性、若者、民間

人口減少のピンチにあるのは、政治の中に女性や若者、働き盛りの世代が入っていないことが背景にあります。このような多様な人々が自由にアイデアを出せる土壌と、政策を実現する財源を整える。そして公共の資産や情報を積極的に開放し、県民と行政が力を合わせて社会をより良くする。そんな県民と共に歩む県政の実現が、このピンチを救つと考えています。

私が市民運動でやってきたことを 知事になって実現します

山口県のどこに住んでいても、性別、年齢、障がい・持病の有無、国籍、収入の大小による格差がなく、誰もが一生、尊厳を持って生きていける山口県を実現させます。貧困の問題を、民間の支え合いに任せるのではなく、県が責任を持つという姿勢に転換します。



推薦
日本共産党
社民党
新社会党



みんなのひろやまへ

- 上関原発・核ゴミ中間貯蔵施設はつくらせません
- 軍事基地の強化は認めず、核兵器の廃絶を
- 貧困と格差をなくし「生活の基盤」を整える
 - ・「生活保護は権利です」を周知徹底します
 - ・子ども食堂を支援、子育て支援は第1子から。
- 行き届いた医療、介護を実現
 - ・国民年金でも入れる介護施設をつくる
 - ・地域の病院・介護施設を守る。家族間の介護を支援。
- 誰にも学ぶ権利を保障し、行き届いた教育を実現
 - ・小中学校の給食費無料
 - ・医療費無料の県制度を18歳まで拡大
- 「地産・地消」で食の安心・安全を守る
 - ・農林漁業を基幹産業に位置づけ、小規模農家を守る
- 中小企業を支援し、最賃1500円に
 - ・賃上げする県内中小企業を支援
 - ・働きやすい職場に
- 県民の自主的な文化・芸術活動を応援
- 自分らしく生きる権利を尊重
- 憲法と民主主義を守りぬく

生活の大変さを本当に実感している私を知事にすることで、政治が変わります。一人ひとりが大切にされる、生きがいの持てる山口県に変えましょう。



【略歴】1964年、阿知須町（現山口市）生まれ●阿知須中学校、県立山口中央高校、山口芸術短期大学卒●（株）エムラ防府本店、設計事務所などに勤務、2級建築士●現在、セブンイレブン店員と山口大学教職員組合パート書記として働く、非正規ダブルワーカー●西京シネクラブ代表、原発をつくらせない山口県民の会事務局長、原水爆禁止山口県協議会筆頭代表理事●趣味・映画鑑賞、美術鑑賞、読書●家族・夫（介護福祉士）、保護猫1匹

おおくぼまさこ
大久保 雅子

ありちか
有近 まちこ

■知事として実現したい策

◎若者・女性の流出止め策

- Uターン者への奨学金支援
- 就職応援金の創設
- 日本一、Uターンしやすい制度の創設
- 再就職応援制度の創設

◎子ども・教育の課題解決策

- 市町への子ども医療費助成
- 教育・児相へ人員配置強化
- 子ども・若者関連予算の倍増
- 高校再編基準の見直し
- 通学支援の拡充

◎医療・介護の充実策

- 地域に適した医療体制の確保
- 医師、医療介護従事者への支援

◎地域経済の活性化策

- 県内中小企業への支援優先
- 事業承継の支援
- 生産性向上の支援
- 物価高対策、価格転嫁の支援

◎農林水産業の支援策

- 農林水産業の所得向上支援
- 担い手確保の支援



■有近まちこのあゆみ

三姉妹の三女、山口市徳地に生まれ育つ。防府高校卒業後に上京。明治学院大学から弁護士事務所就職する。26歳でUターン。貯えた学費で広島大学法科大学院に学び、そこで夫と出会う。夫婦で浪人して弁護士に。長女を出産した36歳で山口県議会議員に当選。日々奔走し現場の声を届け、県民ファーストの施策を提案・実現してきた。

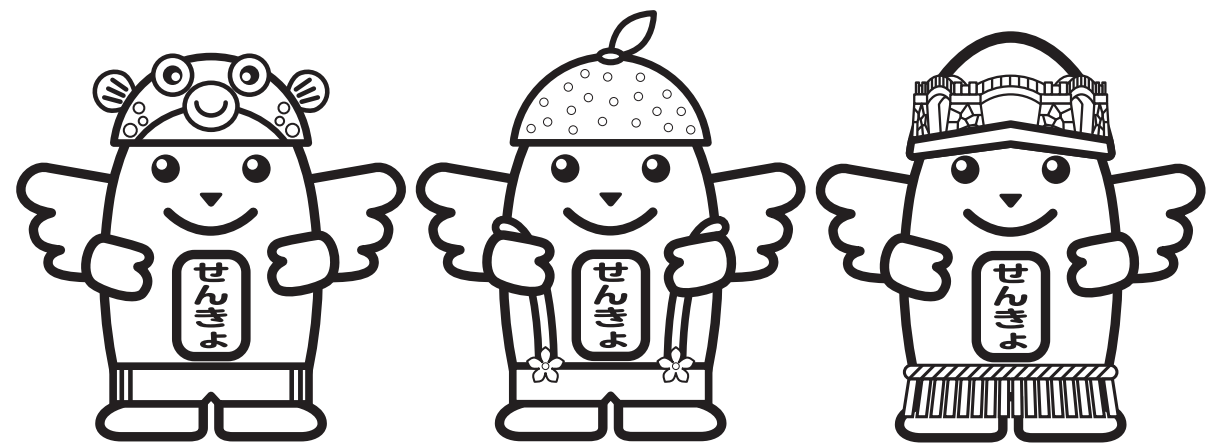
【県議7年間の主な実績】

▼定員規模に応じた保育士の加配、保育補助者の配置▼産科・小児科体制の維持（研修体制、分娩手当等）▼県立高校の再編に対し、特色ある部活動等の継承等▼農業の中古機械等の導入経費の助成▼公共工事の再度の入札手続きの簡素化、他。

2.8日

山口県知事選挙

投票時間／午前7時から午後8時まで（一部地域は日時が異なります。）



めいすいくんスマイル隊

期日前投票

投票日に仕事や旅行等で投票に行けない方は、前もって期日前投票ができます。

1月23日(金)～2月7日(土) 午前8時30分から午後8時まで

（一部の期日前投票所では、期間及び投票時間が異なる場合があります。）

山口県知事選挙特設サイト
https://yamaguchi-kenchiji2026.net



山口県知事選挙チャットボット
山口県知事選挙について分かりやすくお答えします。



山口県選挙管理委員会

「動かす力。 守る力。 未来をつくる。」

稼ぐチカラで、未来をつくる。人生100年を、安心で支える。

●山口の「稼ぐチカラ」を、世界レベルへ押し上げる●

成長の4本柱	世界と戦える 成長産業を、 山口に集積	GXで、世界の 投資を呼び込む	チカラを生み出す 土台の強化	中小企業を、 守り、伸ばす
	農林水産業を、 世界で稼げる 産業へ	観光で、 世界に選ばれる 山口へ		・従業員の賃上げに取り組む企業を集中的に支援 ・人材確保・マッチングを強化 ・事業承継・経営革新・第二創業を後押し

●「4つの安心」で、人生100年を、しっかり支える。●

1 育ち、育てる「安心」 ここで育ちたい、 子どもを産み育てたいと思える山口	2 働ける「安心」 都会から戻ってきても、ライフステージが変わっても、 自分らしく活躍できる山口
3 豊かに暮らせる「安心」 住み慣れた地域で、 便利に、快適に、安全に暮らし続けられる山口	4 長く健やかに生きる「安心」 赤ちゃんからお年寄りまで、 誰もが健康で、元気に毎日を送れる山口

3期12年間の主な実績

- 300件超の企業誘致で約8,000人の新規雇用増を実現
- 県内の新規投資額は3年連続で過去最高を更新中
- 第2子以降の保育料無償化など全国トップクラスの子育て支援策の実施
- 年間移住者数は3倍となり、8年連続増加中
- 行財政改革で県の借入金2,000億円超減少

村岡副政…昭和47年(1972年)12月7日生まれ。満53歳。平成3年山口県立宇部高等学校卒、平成8年東京大学経済学部卒。平成8年4月、自治省（現総務省）に入省。北海道や高知県、広島市などでの勤務、総務省自治財政局財政課財政企画官などを経て、平成26年2月山口県知事選挙で初当選。現在3期目。信条は吉田松陰先生の「志を立てて、以って万事の源と為す」。趣味は読書とランニング、家族構成は妻と2女。



無所属

村岡つぐまろ